

かわさき区の宝物シート

宝物No.	いなげじんじゃ おおいちょう
1-14	稲毛神社 大銀杏



写真提供：NPO法人かわさき歴史ガイド協会

エリア	中央地区	シーズン	初夏～秋
	川崎駅前北	日時	

目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る	<input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する
	<input type="checkbox"/> 食べる	<input type="checkbox"/> その他

宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり	<input type="checkbox"/> イベント・祭り
	<input type="checkbox"/> 味づくり	<input type="checkbox"/> にぎわい
	<input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの	<input type="checkbox"/> 港めぐり
	<input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの	<input type="checkbox"/> 人物

所在地	川崎区宮本町7-7
問い合わせ	稲毛神社社務所
TEL	044-222-4554
FAX	044-245-2003
E-mail	info@takemikatsuchi.net
URL	http://takemikatsuchi.net/ (稲毛神社)
交通	JR川崎駅・京急川崎駅より徒歩10分



基礎情報

- 稲毛神社境内にある樹齢一千年といわれる御神木。戦火で受けた損傷から力強く復活を果たし、現在もなお人々からの篤い信仰を集めている。
- 昭和61年(1986)、稲毛神社境内整備事業の一環として、ブロンズ製の十二支信仰にちなんだ神柱が、大銀杏の周囲に配置され、稲毛神社のみどころのひとつとなっている。根本の祠には竜神様が祀られている。

由来・エピソード

- 江戸時代、東海道を旅する者から「山王様の大銀杏」として知られていた。『愚老忠政遊覧記』には、「この大銀杏の周囲を回りながら願い事をすると、ことごとく叶う。特に縁結び、子授け、子育て、学問稽古事の向上に靈験があり、参拝者がたえない。」と記されるなど、旅人や住民から信仰を集めていたことがわかる。
- 昭和20年(1945)4月の戦火で5日間くすぶり続けた結果、幹が空洞化するという大損傷を負った。そのため、戦後、神奈川県指定の天然記念物から解除された。倒壊を防ぐためやむなく上部が切り落とされたが、やがて残った幹の樹皮から若枝が伸長しはじめ、年月を経て見事な復活を果たしたのである。御神木の証しとなるその強い生命力に、人々はより畏敬の念を強くしたといわれている。

補足・その他

関連シート

(1-14) 稲毛神社